

■ グループ紹介

三菱化工機株式会社

1. 当社の沿革

当社は、昭和10年5月三菱系諸会社の共同出資により設立された。時あたかも、我が国化学工業の黎明期にあり、化学機械の国産化が強く要望されていた時代であった。設立当初は、水性ガス発生装置、ウインクー式ガス発生炉、ルルギ式硫酸製造装置、ロータリーキルン等、外国技術による化学装置、機器の国産化に主力が注がれ、繁忙を極めた。

第2次世界大戦前から戦時中にかけては、軍需関係の振興策によって、人造石油、石炭液化、アンモニア合成等に関連する装置をも手がけた。

戦後は、化学肥料、紙パ、油脂、食品、製鉄、化繊等の幅広い分野で着々と実績を重ね、特に、戦前提携した英国、パワーガス社との技術提携復活によるPGC式増熱水性ガス発生装置は、増大しつつあった都市ガス需要に適合し、数多くの実績を築いていった。また、上下水、廃水処理、廃棄物処理、大気汚染防止装置、等の公害防除に対する社会的要請に応じて、公害防止機器の総合メーカーとしての地位を確立した。

近年は、バイオテクノロジー、エネルギー資源の有効利用、超真空・極低温技術、各種分離・精製技術、社会開発型プロジェクト、等幅広い分野への進出をはかっており、機器製作能力を持つ、ユニークな総合エンジニアリング会社として、内外にわたり積極的な活動を展開している。

2. 当社の主要製品

分野	主要業務・製品
エネルギー	・都市ガス製造装置 ・水素製造装置 ・コークス炉ガス関連装置 ・硫黄回収装置 ・LNGサテライト設備
有機化学 (C系)	・石油化学装置 ・合成樹脂製造装置 ・薬品、フラインケミカル製造装置
食品	・食用油抽出精製装置 ・食品加工製造装置 ・醱酵、醸造装置
無機化学	・硫酸製造装置 ・磷酸製造装置 ・硫酸製造装置 ・石符ボード設備 ・電極焼成設備 ・連続苛性化設備
環境改善 (大気)	・排煙脱硫装置 ・排煙脱硝装置 ・脱臭設備 ・集塵装置

環境改善 (水質)	・上下水処理装置 ・し尿処理装置 ・産業廃水処理装置 ・生活廃水処理装置 ・廃油処理装置 ・中水道設備
単体機器	・油清浄機 ・遠心分離機 ・ろ過機 ・攪拌機 ・塔、槽、熱交換器 ・バイオサーフ
その他	・飼料プラント ・屠場設備 ・コンドーム製造プラント ・汚泥コンポスト化設備 ・ガス、空気分離膜(ブリズムセパレータ)

3. 当社の技術開発

分野	新製品、新技術
エネルギー 関連 原子力除染	・石灰ガス化プロセス ・電気炉廃ガス熱回収 ・除染作業ロボット ・原子炉系統化学除染
バイオテクノロジー	・バイオリアクタ・細胞培養設備 ・バイオクリーンルーム ・バイオマスアルコール ・菌体分離装置 ・種苗生産技術
食品関連	・超臨界ガス抽出分離装置 ・二軸クッカーエクストルーダー
メカトロニクス、 FA関連	・設備自動化システム ・壁面作業ロボット ・設備監視診断システム ・コンピュータ制御システム
固液分離技術	高温用遠心分離機 汚泥二次脱水用スクリュープレス
その他	・CO分離精製装置 ・膜による有価物回収 ・放射線照射設備

4. 責任と信頼のエンジニアリング

当社は創業以来、化学工業界を中心にその活動の領域を広げてきたが、エネルギー、食糧、水、そして環境という人類の基本テーマに絶えず取り組んできており、今後もこのテーマは不変である。そして、新しい時代の産業と社会開発のリーダーとして、“責任と信頼のエンジニアリング”を旗じるしに、たゆまざる技術の研鑽と人類への貢献を願って、日々努力を続けている。

所在地：〒541 大阪市東区伏見町5-1

(文責：大阪営業所所長代理 大塚秀毅)